

「第36回光物性研究会(2025)」のご案内

First Call for Papers

開催日 : 2025年12月12日(金)、13日(土)
開催場所 : 大阪公立大学 学術情報総合センター(杉本キャンパス)
論文投稿締切日: 2025年11月 4日(火) (pdfファイル投稿)
参加登録締切日: 2025年11月28日(金)
(この後の参加登録も受け付けますが、参加費が上がります)

研究会の概要:

本研究会は1990年より始まり、今年で36回目を迎えます。その特徴として、「チュートリアル講義」と「特別講演」を招待講演とし、一般発表は特にテーマを設定せず、広義の光物性分野の諸課題を中心に議論することを趣旨としております。これは、多岐にわたる光物性およびその関連分野の若い研究者、学生に発表と討論の機会を提供し、研究者間の交流、情報交換の場となることを研究会開催の主目的としているからです。そのために、十分に時間をかけて自由に討論できるポスター発表を研究会の中心に据えています。全国の研究者、学生の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

2025年度も懇親会を開催:

講義、講演、ポスター発表は対面で開催致します。さらに、懇親会の開催も予定しております。活発な情報交換、親交を深める場となれば幸いです。是非、奮ってお申し込み下さい。

テーマ: 励起子光学応答、超高速光学過程、非線形光学現象、低次元系の光物性、光誘起相転移、局在状態(緩和励起子)の光物性、ナノ構造物質による光機能制御、光エレクトロニクス・量子情報・太陽光発電等材料への応用、フォトニック結晶、プラズモニクス、メタマテリアル、光マニピュレーション、光化学反応、光合成・生体関連物質の光物性、材料・デバイスの光学評価、新分光法、その他。

チュートリアル講義と特別講演: 大学院生、若手研究者を主対象に、チュートリアル講義(90分)と特別講演(60分)があります。

光物性研究会奨励賞: 将来の光物性研究をになう優秀な大学院生の研究・発表を奨励し、今後の研究の一層の発展を期待して表彰を行います(受賞件数は発表総数の5%程度:概ね3~4件)。本賞の受賞対象者は、事前に申し込む必要があります(詳細はweb上で案内しています)。

論文集: 参加者全員に論文集デジタル版を配布します。論文は各発表4頁です。論文の提出が発表の条件になります。論文はwebにおいて一般公開します。投稿の際に公開の可否をご指定下さい。なお、本研究会では著作権譲渡を受けません。

論文投稿締切日: 2025年11月4日(火): pdf投稿、キーワードの指定が必要

参加費: 11月28日まで 教員、研究機関、企業関係者 5,000円、学生 3,000円

11月29日以降 教員、研究機関、企業関係者 6,000円、学生 4,000円

参加費の振り込みについては、webに記載している振込口座をお願いします。

研究会の情報: <http://phys.iina.kumamoto-u.ac.jp/HIKARI/index.html>

全ての連絡(参加登録、プログラム、論文書式、参加費振り込み等の案内)はwebで行います。

研究会問い合わせ先: 〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1-1

大阪公立大学大学院工学研究科電子物理工学科 金大貴 (組織委員長)

e-mail: kimtegi@omu.ac.jp tel: 072-247-6161

組織委員: 岩井伸一郎(東北大・理)、早水裕平(東工大・物質理工)、片山郁文(横浜国大・工)、馬場基彰(横浜国大・工)、田中耕一郎(理研)、中 暢子(京大・理)、松田一成(京大・エネ科)、浅野建一(阪大・全教)、芦田昌明(阪大・基礎工)、金 大貴(組織委員長:阪公大・工)、溝口幸司(阪公大・理)、鐘本勝一(阪公大・理)、秋元郁子(和工大・工)、喜多 隆(神大・工)、赤井一郎(熊大・産業ナノ研)

実行委員: 金大貴(阪公大・工)、赤井一郎(熊大・産業ナノ研)、岩井伸一郎(東北大・理)、大畠悟郎(阪公大・理)、余越伸彦(阪公大・工)、沈用球(阪公大・国基教)、洪田昌弘(阪公大・工)